

こけしじりょう通信

絵と文・さらさらいよついの

そのワ

今回は五日市街道
沿いを東に向かって

歩いてみましょう。

た気になったのは
たてに長く細い

区画の土地!

このあたり
の地名の

宮前」は昔

大宮前新田」

とよばれ江戸時代初期に開墾
された新しい村だったので

宮前は
江戸の
ニュータウン!

これは...
絶対...
なにかある!!

西荻窪駅

松庵

西荻南

五日市街道

宮前

宏寺

春日神社

茅葺き
の屋根

なんだ
この
区画!

え?
じゃあ
それまでは
何もな
いところ
だったの?

このあたりは幕府に
納める茅(かや)の
採取場でしたが
明暦の大火(1657)以降
は幕府の方針により
江戸の被災者の
移住地として開墾が
すすめられました。

一体誰がつくった
村だったの?

関村(練馬区)の名主
井口八郎右衛門を中心に
開墾が行われ寛文2年(1672)
「大宮前新田」が誕生しました。
街道沿いに短冊状の土地
が多いのはこの時の開墾の名残
で、割りふられた「ひとのまり」
のほり旗に見立てて「ひとのまり」
と呼んだそうです。

たしか吉祥寺村
も江戸からの移住
者の村なん
だよ。

気になる
村名の
由来は!?

古刹大宮八幡宮の
前面にできた新田だから
という説が正しいそうです。
村の鎮守は春日神社。
鳥居をくぐるとかわい
い

神鹿さんが
お迎え
してくいま
すよ。

ほんとだ!!
旗みたい!!

畑... 畑... 畑

